

『稲沢市の包括的な支援体制』を実現させるために

私たちにもできる

具体的なアクション・ガイド



レベル1 他分野の業務にも関心を持って話しかけてみよう!

- ① 包括的な支援体制づくりの要(かなめ)は『多職種連携の強化』です。
- ② 連携強化の第一歩は、コミュニケーションの充実、つまり、会話です。
- ③ 今日から積極的に他分野の人にも話しかけてみましょう!

レベル2 みんなで一緒に考えよう!

- ① そもそも『包括的な支援体制づくり』は何のため?
- ② 本当に充実した支援体制は、皆さんの問題意識とアイデアから生まれます。
- ③ 理想的な支援体制の形をみんなで一緒に考えていきましょう!

レベル3 専門外の相談も受けてみよう!

- ① 気軽に相談できる相談先が広がるほど、早期発見、早期支援に繋がります。
- ② 専門外(分野外)の相談であっても、業務に支障がない範囲で受けてみましょう!



安心して下さい!
専門外の相談や複雑な相談は、
福祉総合相談窓口で受け止めます!

レベル4 自ら考え、行動しよう!

- ① あなたも『包括的な支援体制づくり』の当事者です。
- ② 『みんながより良く生きる』ために何が出来るか? 自ら考え、行動しましょう!



社会福祉法人稲沢市社会福祉協議会 福祉総合相談窓口

【開設時間】 月曜～金曜8時30分から17時15分 まで(祝日・年末年始除く)
【住所】 稲沢市稲府町1番地 市役所東庁舎(福祉の拠点)内
【電話】 直通 0587-32-1484 共通 0587-23-6713

誰一人取り残さない

『地域共生社会の実現』を目指して

～ そもそも、重層的支援体制整備事業って何? ～

Q 令和4年度から稲沢市で始まった『重層的支援体制整備事業』って何のこと?

A 一言で言えば『**みんなでみんなを支え合う仕組みを創っていく事業**』のことだよ。
『包括的な支援体制づくり』とも呼ばれていて、『**相談支援**』『**参加支援**』『**地域づくりに向けた支援**』の『**三つの柱を一体的に充実させていく取り組み**』のことなんだよ。



Q なんで、『重層的支援体制整備事業』ができたの?

A 8050世帯やヤングケアラー、ひきこもり、介護と育児のダブルケア、ゴミ屋敷、社会的孤立など、複雑化・複合化した生活課題を抱えたケースが増えてきたことが背景にあるよ。
これまでのような属性別・年代別の支援体制では、制度ごとに支援対象者が決められているから複雑化・複合化したケースに対応できなくなってきたんだよ。
この問題を解決するために、国は、『**どんな属性や年代の人にも支援の手を差し伸べることを可能にした制度**』を創ったんだよ。
それが『**重層的支援体制整備事業**』なんだよ。



©稲沢市 いなっぴー

Q 稲沢市は、どんな支援体制を創ろうとしているの?

A 今ある相談支援の仕組みをベースに、分野を超えた多職種連携の強化によって『**みんなでみんなを支え合う仕組み**』を創ってこうしているよ。

具体的なイメージ図は、次のページを見てね!